

# スタッフ

教授： 佐橋 政司、 教授： 松浦 祐司

【事務局】 特任教授 中村 肇（教育広報企画室）

## 目的

グローバル化の進展とともに、企業間の研究開発競争が激化し、大学と企業とのより密接な連携が重要となっています。これまでのような大学から企業への知の流れだけでなく、相互理解と信頼関係のもとに、先端研究や人材育成で相互補完できる体制を構築していくことが必要と考えています。

このような背景を踏まえ、大学側からの先端研究の状況を産業界へお知らせするとともに、企業の皆さまからも産業の観点からの課題や新技術への期待を伺い、相互理解と信頼関係のもとに相互補完できる体制の構築を目指したいとの考えから、2008年10月に東北大学電気・情報系“電気・情報未来戦略 — 21世紀を拓く情報エレクトロニクス—”懇談会（略称『未来戦略懇談会』）が設置されました。

東北大学と産業界の相互理解と信頼関係の下、21世紀の電気・通信・電子・情報・医工学等における研究の振興とその将来動向を探るとともに産学連携・協力に関する整備・促進を図ることを目的としています。

## 主な活動内容

### 1. 人材育成支援

企業における研究開発の実践方法を学ぶことを目的に、企業から講師をお迎えして、電気・情報系の博士前期課程の学生を対象とした正規の授業科目として「研究開発実践論」を開講しています。

2011年度からは後期（10月から2月）の開講として計14～15回の講義を行っています。履修者は約100名です。

授業後には「懇談time」を開催し、よりフランクな雰囲気の中で学生と企業の経営者・研究者・技術者等との懇談・意見交換を行っています。

さらに2012年度は、特別講義として東日本旅客鉄道株式会社の取締役会長の清野 智氏に講演いただき、教員30名、学生220名（博士前期・後期、学部生等）が参加しました。

研究開発実践論での講演企業と講演タイトル（2012年度）

回	企業名	講演タイトル
1	東京エレクトロン	半導体産業発展の経緯と将来
2	東北電力	電力の安定供給を支える技術
3	シャープ	LTE/LTE-Aの国際標準化と規格特許について
4	日本ゼオン	新事業から学んだこと、伝えたいこと
5	日本電気	ICTの潮流と企業における研究開発
6	住友電気工業	先導的電線メーカーにおける研究開発と新事業開発開拓
7	三菱電機	総合電機メーカーの研究開発
8	ポッシュ	自動車制御技術の紹介とグローバル企業での働き方
9	キヤノン	デジタルカメラ、デジタルビデオの製品技術開発
10	東海旅客鉄道	超電導リニア開発と中央新幹線
11	日本電信電話	光アクセスネットワーク用LSIの研究開発
12	旭硝子	ガラスと有機化学の複合を目指した「DVD光ピックアップ用有機プレーナ集積光学素子」の開発事業化
13	ニフティ	サービスプロバイダーにおけるクラウド事業立ち上げへの挑戦
14	TDK	非常識な挑戦の魅力

## 2. 進路指導支援

「企業フォーラム」を開催し、多くの企業の関係者との交流を通して学生の産業や社会への理解が増すことを支援しています。

昨年度は、『我が国電気情報・エレクトロニクス産業の再生』をテーマとして、12月22日（土）に東北大学青葉山キャンパスで開催しました。

日立製作所及び東芝からの基調講演、村田製作所・富士通・新日鐵住金・トヨタ自動車からの事例発表、企業38社が参加してのブース交流会を実施。学生200名以上、企業からは38社100名以上が集まり、教員等も合わせて合計320名以上が参加。学生にとって企業の研究開発や将来戦略について理解を深めることができる大変有意義な時間を持つことができました。



## 3. 未来戦略の共有

電気・情報分野の未来ビジョンと戦略について企業会員と電気・情報系教員との交流と意見交換を行うための「未来戦略についての意見交換会」を実施し、長期的未来戦略の共有を図ります。

昨年度は、『エレクトロニクスの新展開』をテーマとして、3月29日（金）に東北大学東京分室で開催しました。

企業からは豊田中央研究所の石子雅康様とシャープの吉田育弘様、大学から電気エネルギーシステム専攻長の斎藤浩海教授による計3件の講演を中心に、意見交換・討議を行いました。



2012年度は44社に企業会員となっていただきました。本年度につきましても、会の趣旨にご賛同いただける多くの企業のご参加をお待ちしております。